

3DS 部品データの取り込み方法【3次元部品作成】

文書管理番号：1059-03

Q. 質問

3DS 形式の部品データを、A's (エース) の部品として使用できるようにしたい。

A. 回答

3DS ファイルは、 (部品作成) でインポートし、必要なデータを登録して、A's (エース) で使用することができます。

3次元部品作成のインポートからは、3DS、SKP、FBX、3DDXF の形式の 3D 部品データを取り込むことが可能です。

ここでは、食器棚のカップボードの部品の 3DS ファイルを例に、 (部品作成) での登録方法を説明します。

【参考】

3D 部品のデータ (3DS、SKP、FBX 形式のファイル) は、 (プラン図) や  (屋根伏図)、 (外構図) の部品配置のインポートからも取り込みが可能です。

プラン図の部品配置からの取り込み方法については、こちらをご覧ください。

[\[1058\] 3DS 部品データの取り込み方法【部品配置】](#)

【注意】

3DS ファイルにテクスチャ (部材色) ファイルが伴う場合は、以下のフォルダにテクスチャ (部材色) ファイルをコピーしてください。

A's (エース) のインストール先 (初期設定のままなら C ドライブ)

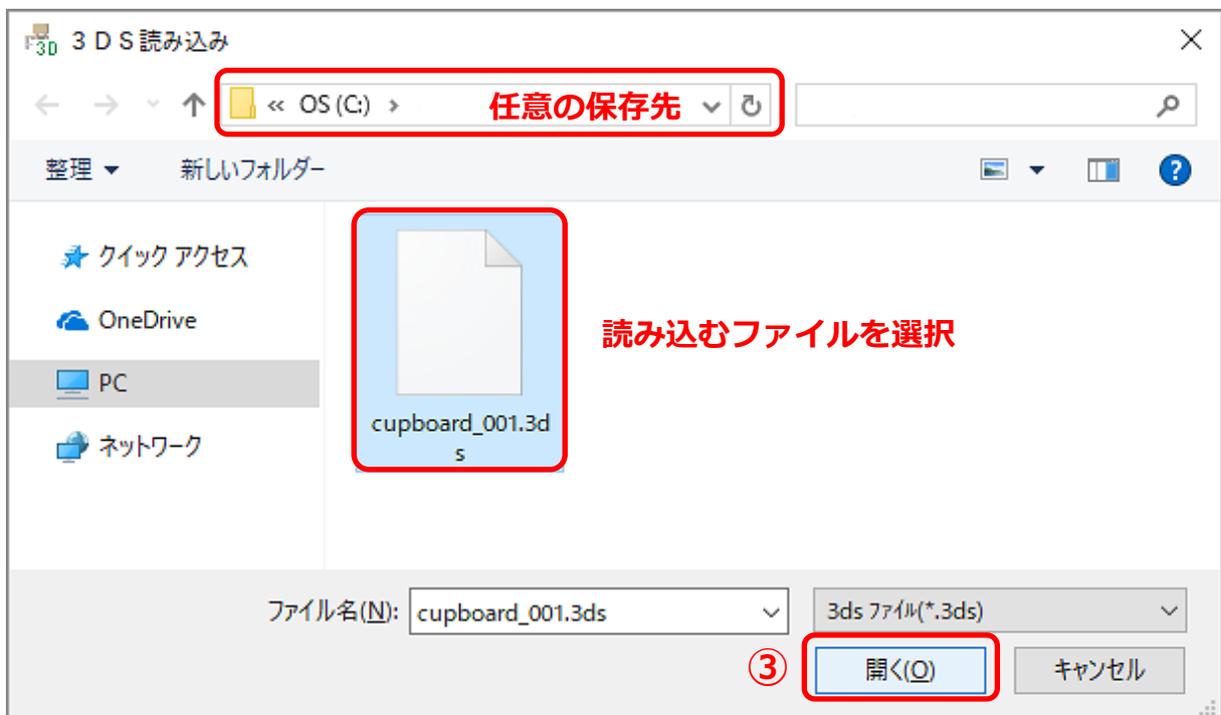
⇒ 「CPU」フォルダ ⇒ 「A's」フォルダ ⇒ 「TEXTURE」フォルダ ⇒ 「3DS」フォルダ

操作手順

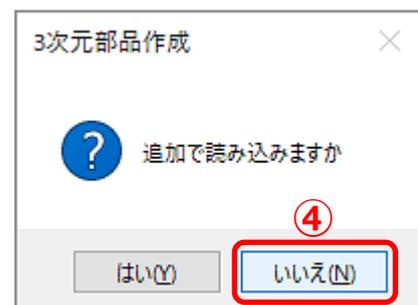
● 3DS ファイルのインポート（取り込み）

3D パースなどの 3 次元表現のためのデータを作成します。

- ① ≡ (クイックメニュー)またはメインメニューの「ツール・他」タブからH3D(部品作成)をクリック
 - * 3次元部品作成の画面が表示されます。
- ② 「ファイル」⇒「インポート」⇒「3DS 読込」をクリック
 - * 3DS 読み込みの画面が表示されます。
- ③ 読み込みたい 3DS ファイルを選択し、「開く」をクリック



- ④ 「追加で読み込みますか」と表示されるので、「いいえ」をクリック
 - * 3DS インポート設定の画面が表示されます。

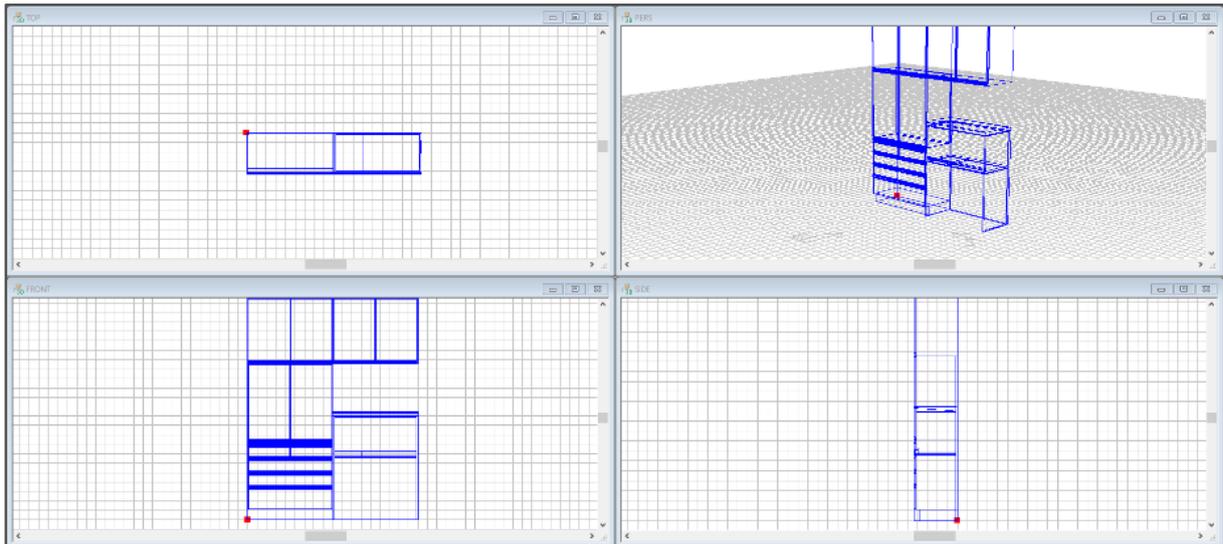


⑤ 倍率を確認し「OK」をクリック

* ここでは、倍率「1」倍のままを進めます。



*  (3D)画面に部品データが表示されます。



● 2Dデータの作成

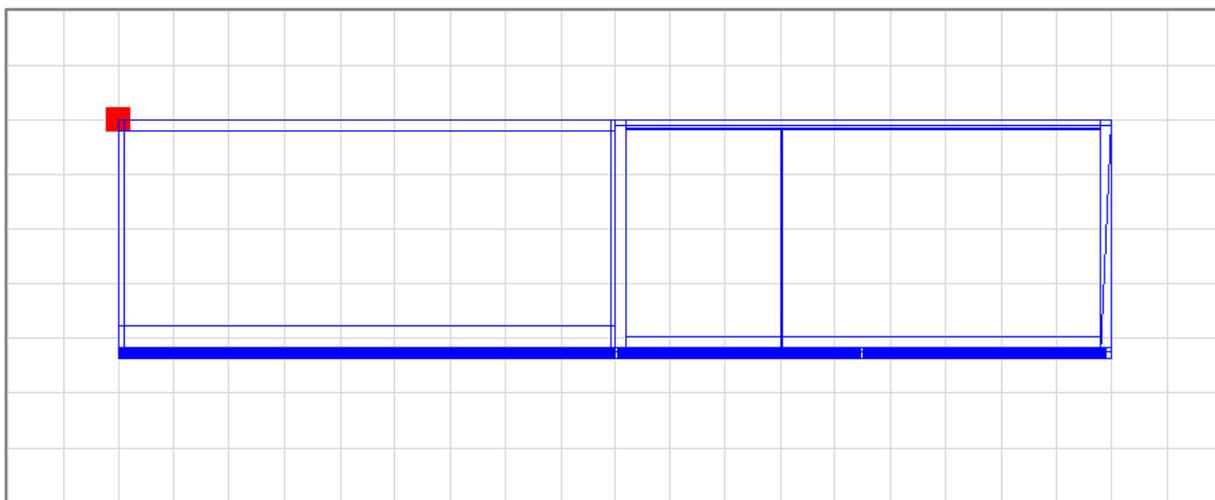
プラン図などの平面表現のためのデータを作成します。

①  (2D)をクリック

* 2D画面が表示されます。

②  (自動作成)をクリック

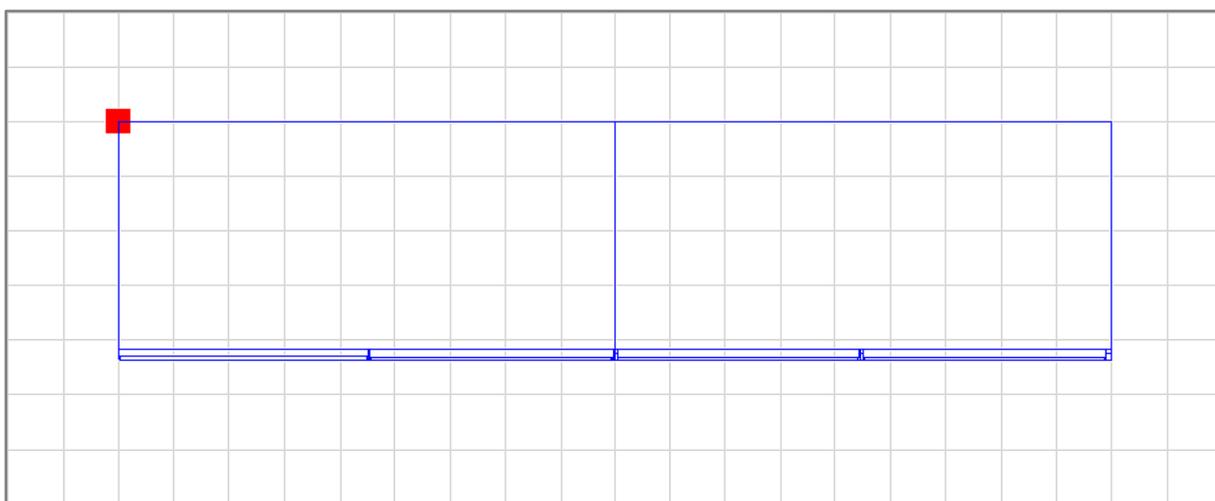
* 平面表示のデータが自動作成され、読み込まれます。



* 読み込まれた図面は、任意に要素を編集してください。

キーボードの[Shift]キーと[Ctrl]キーを押しながら、 (自動作成)をクリックすると図面編集が起動し、図面が読み込まれます。図面編集で編集後、図面編集の画面を閉じると、 (2D)の画面に編集後の図面が読み込まれます。

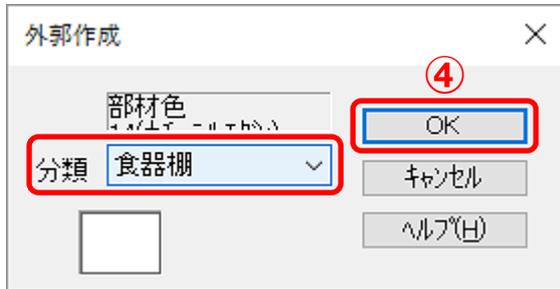
<編集後の図面>



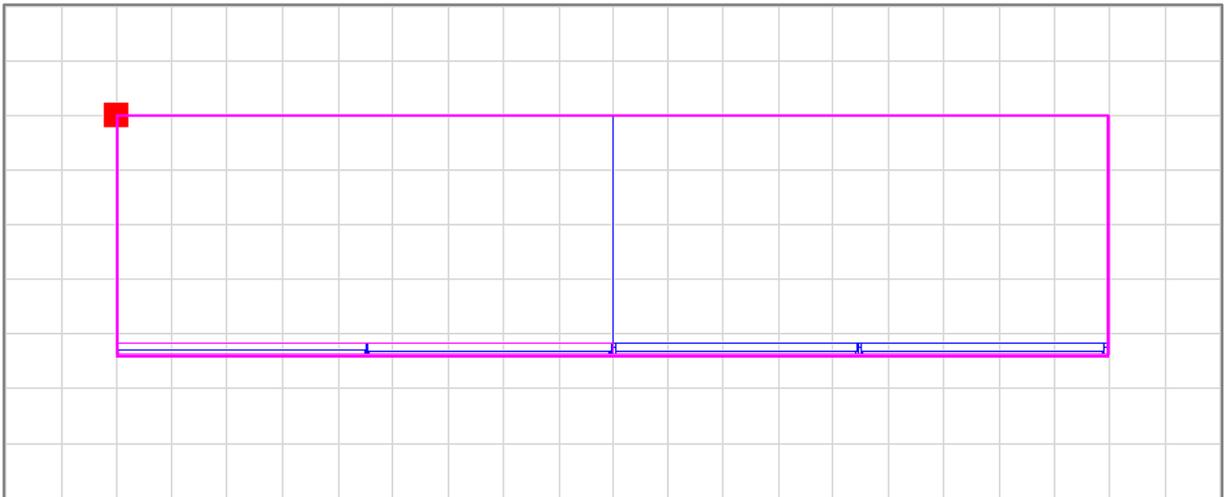
③  (外郭自動作成)をクリック

* 外郭作成の分類設定画面が表示されます。

④ 分類を「食器棚」に設定し、「OK」をクリック



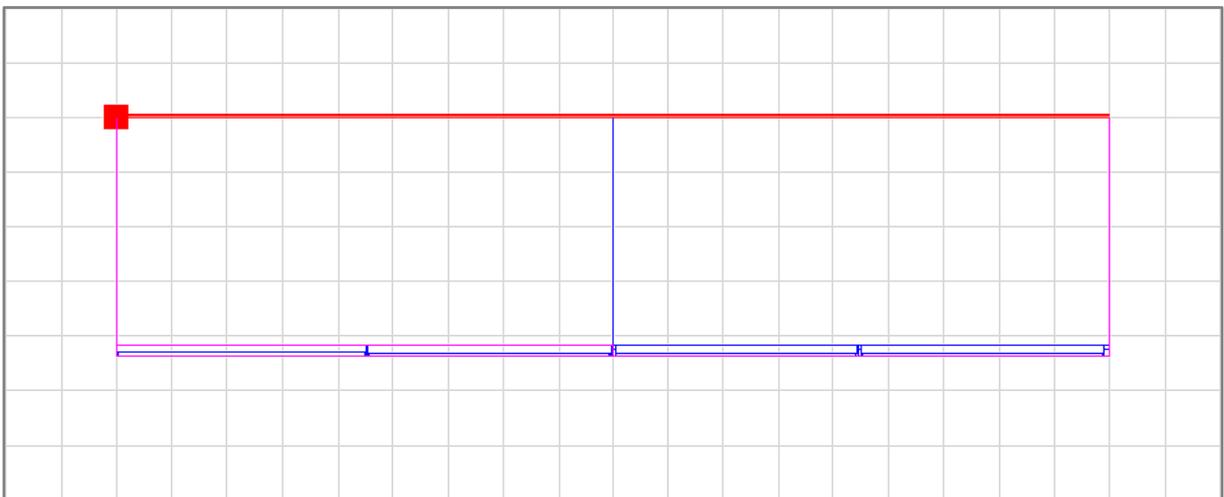
* データの外郭が自動認識され、ピンク色の線で外郭線が自動作成されます。



⑤  (配置基準線設定)をクリックし、部品配置時の基準線としたい位置を、起点-方向で指示

* 配置基準線が赤色の線で表示されます。

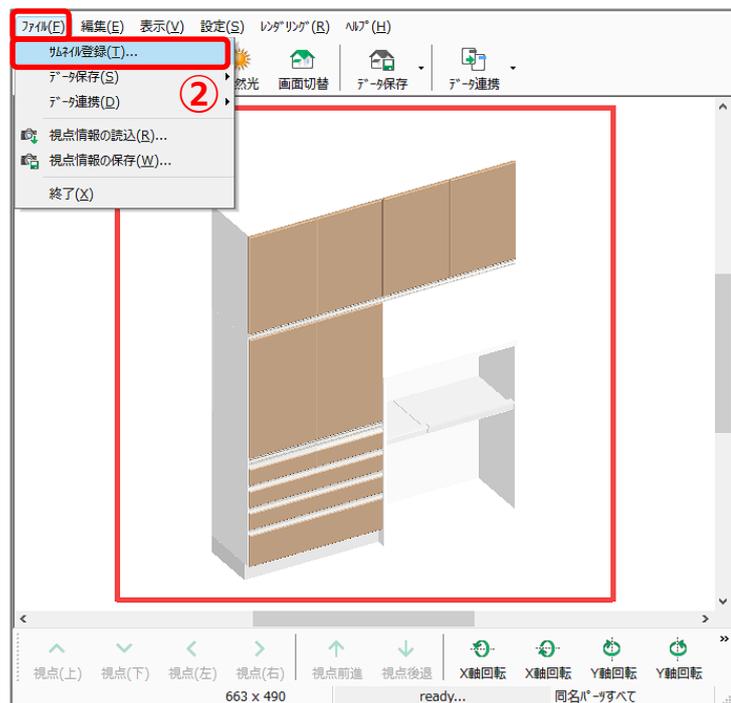
* 長さは任意に調整してください。



● 部品のパース画像（サムネイル）の登録

部品配置時に表示される部品のパース画像（サムネイル）を作成します。

- ①  (レンダリング)をクリック
 - * 3次元部品パース表示の画面が表示されます。
- ② 部品の色や向き、大きさなどを調整し、
「ファイル」⇒「サムネイル登録」をクリック
 - * 背景・前景の画面が表示されます。



- ③ 背景・前景の設定はそのまま「OK」をクリック
 - * サムネイル登録の画面が表示され、レイトレース 2 でレンダリングが実行されます。

- ④ レンダリング完了後、「閉じる」をクリックし、3次元部品パース表示の画面も、「×」をクリックして閉じる
- * 3次元部品パース表示の画面は、「ファイル」⇒「終了」を選択して閉じてかまいません。
 - * 部品配置時に表示される部品のパース画像（サムネイル）が自動で登録されます。



● 部品のテーブル登録

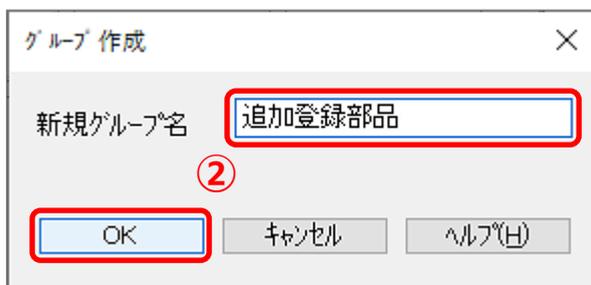
部品を登録し、プラン図などで配置できるようにします。

① (テーブル登録)をクリック

- * 「ファイル」⇒「テーブル登録」を選択してもかまいません。
- * グループ作成の画面が表示されます。
- * あらかじめ登録されているシステムグループ（オリジナルや WEB 部品など）には、部品を追加することができません。必ずグループを作成してください。
- * 既に作成したグループがある場合は、テーブル登録の画面が表示されます。既存のグループに登録する場合は、そのまま操作③へ進んでください。
- * 新たなグループに登録する場合は、テーブル登録の前に、 (テーブル編集)の「グループ作成」でグループを追加してください。



② 編集した部品の登録先となる新たなグループ名を入力し、「OK」をクリック



- * ここでは、「追加登録部品」としています。
- * テーブル登録の画面が表示されます。

- ③ 各項目を以下のように設定

グループ別分類：追加登録部品
 配置別分類：内観部品
 種類別分類：食器棚
 名称：カップボード
 ファイル名：cupboard
 メモ：<空欄>

- ④ 詳細情報の「設定」をクリックし、各項目を以下のように設定

配置基準：基準線
 設置高：0mm
 立面基準：床
 配置モード：隅付
 出力設定：画像出力、平面図図面出力にチェックあり
 積算フラグ：チェックなし

⑤ 詳細の設定画面を「OK」で閉じ、テーブル登録の画面の「OK」をクリック

- * 「食器棚に cupboard.PAT を追加します。よろしいですか?」と追加確認のメッセージが表示されます。

⑥ 「OK」をクリック

- * 「内観部品」の「食器棚」の「追加登録部品」に、カップボードの部品が追加されます。

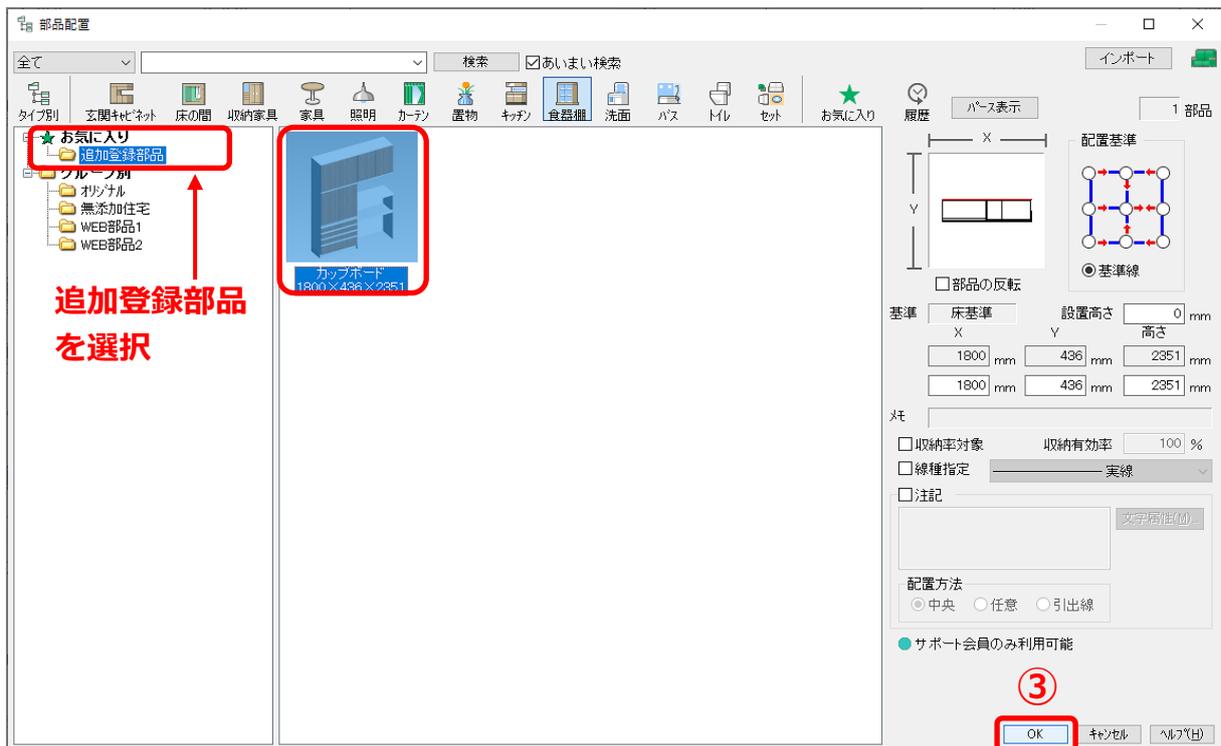


● 登録した部品を配置して確認

① (プラン図)で、 (内観部品)の (食器棚)をクリック

- * 部品配置の画面が表示されます。

② 左側のツリー表示から「追加登録部品」をクリック



③ 登録したカップボードの部品を選択し、「OK」をクリック

④ 部品を任意の位置に配置

⑤  (3D パース)で確認



【参考】

立面・断面を作成しておくことで、展開図や矩計図・断面図でも表示できます。

立面・断面の作成については、[こちら](#)をご覧ください。

[\[1060\] 各種図面（断面・矩計・展開・立面）への部品の表示](#)